

農作物の盗難防止

“いま、なぜ防犯カメラが必要か？”

農園・農場・農作物倉庫の防犯・監視カメラシステム

《夜間等の無人のとき監視。目の届かない場所の監視。カメラ設置による威嚇を。》



《よくある農作物の盗難被害例》

- ・収穫を終えたばかりのサクランボが盗まれる。
- ・収穫直前のリンゴの木から大きなリンゴだけが盗まれていた。
- ・ビニールハウスから出荷間近の小玉スイカが盗まれる。
- ・倉庫内から収穫したばかりの新米が盗まれる。
- ・ミツバチの巣箱が盗まれる。

収穫の秋は特にご注意!!

9月～11月が多く、全体の45.5%

野菜・米・果物が狙われる

野菜が最も多く、次いで米、果物の順に



夜間も赤外線でパッチリ
威嚇・抑止し未然に防止!



車や作業車の盗難被害も
増加しています。



赤外線カラーカメラ

- ・倉庫に設置し、不審者の侵入を監視。
- ・夜間、明りが全くない場所もモノクロ映像で監視できます。

いつでも、どこでも見れる **ネットワーク遠隔監視** がおすすめです!

動きを感知



カメラのズーム・回転

静止画をメールで送信

メモリーカードに保存



スマートフォンやパソコンで いつでもモニタリングできます

自宅や事務所など離れた場所から、24時間いつでも監視映像を確認したりカメラを操作したりできます。映像に動きがあった時に自動で静止画を記録する「動体検知」も便利な機能です。

電源を確保できない場所 → ソーラー、風力発電で解決!
インターネット環境のない場所 → モバイルカードで解決!